

## ガス導管敷設工事における不適切な路盤材使用について(お詫び)

京葉ガス株式会社は、道路を掘削してガス導管を埋設する等の工事を行う場合には、道路管理者である行政から道路占用許可を受け、その上で工事を施工会社に発注しております。

このたび、弊社が日鉄パイプライン&エンジニアリング(株) (以下、「NSPE」) に発注したガス導管敷設工事の道路復旧において、指定されたものと異なる路盤材の使用が発覚したため、監督行政に報告し、お詫びいたしました。

弊社といたしましては、このような事態が起きたことを重く受け止めており、お客さまならびに監督行政をはじめとする関係者のみなさまに多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、このような事態が発生しないよう再発防止に努めてまいります。

### 1. 不適切な路盤材使用の概要と件数

#### (1) 概要

ガス導管敷設工事後に開削した道路を埋め戻す際、上層路盤部の材料に「再生粒度調整碎石」を使用するよう指定された工事現場において、下層路盤部の材料である「再生クラッシャーラン」を使用して埋め戻しを行っていました。

#### (2) 件数

13件

### 2. 発覚した経緯

本年10月27日に、NSPEから報告を受け、事実を覚知しました。

### 3. 発生原因について

使用された路盤材の管理は、施工会社から提出される工事写真の目視判別にて行っておりますが、抜き取りにて実施している現場検査においては、路盤材を確認する項目を設けておらず、適切な指導、管理を行うことができていませんでした。

### 4. 弊社の対応

#### (1) 不適切な路盤材使用現場への対応

不適切な路盤材が使用された13件の路面点検を行い、道路交通への影響等の不具合が発生していないことを確認しております。

#### (2) NSPE以外の施工会社への調査と対応

弊社が工事を発注する施工会社に対して、調査(工事写真の確認、品質検査の結果確認、聞き取り調査等)を実施しております。今後は、監督行政からの指示を踏まえ、適切に対応してまいります。

#### (3) 今後の対応

不適切な路盤材が使用された現場について、弊社社員による路面点検を継続的に実施していくとともに、今後の対策について監督行政からの指示を踏まえ、適切に対応してまいります。

なお、現在弊社ではNSPEによるガス導管敷設工事は停止しております。NSPEと連携して原因の究明を進め、再発防止策が確定するまで同社の工事は再開いたしません。